

## 2025年（令和7年度）駒岡保育園自己評価

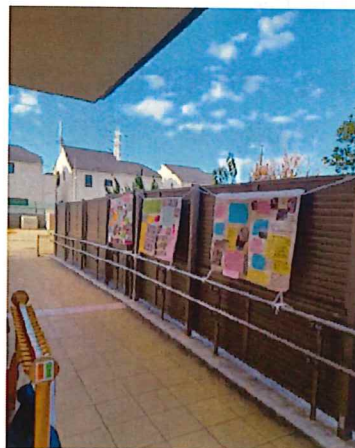
テーマ「子どもの育ちや日々の過程を保育者が理解を深め、保護者と共有していく」

前年度の園庭を整備することをきっかけに、子どもたちの発達をどう支援したらよいのか何を育てていきたいのか、さらにすべての職員が同じ気持ちでとりくんでいけるようが大事だと感じ、今年度は朝夕のみの保育を担っている職員と日中の担任との「グループ会議」を設け情報交換の場を設けました。また、行事のアンケートから子どもたちへの支援方法の理解がまだ足りないと感じ、まずは発信の仕方を工夫することにしました。

### 【取り組み】

#### ① 保護者へのアプローチ

生活発表会にはそれまでのクラスで子どもたちと作り上げていった過程をクラスノートやドキュメンテーションとして掲示していきました。そこで私たちが保育の中で大切にしていることをお知らせしました。



ドキュメンテーションを掲示した中で保護者からは、とてもわかりやすく、クラスでの取り組み

も理解できたと、とても好評でした。掲示したことでゆっくりと見ていただくことができました。職員会議で、職員同士発表の場を設け子ども理解や日々の保育の担任の思いなど保育を伝え合いました。

## ② 職員間の保育観のすり合わせ

園庭や2階テラスが新しくなったこと、それにより子どもたちの様子はどのような感じ変化していったのか？子どもたちの様子やつぶやきを聴いてみる、その時に感じ取った子どもの気持ち、出来事を通して思った自分の考えを、つぶやき・エピソードを一人ずつ発表し、さらにグループワークを朝夕職員で取り組みました。

### ① グループ

子どもたちの成長が見られ、大人が危ないと思うことも子どもたちはいろいろと考えて取り組んでいることがわかった。エピソードを聴いて子どもそれぞれの世界観や知識量を感じられた。

### ② グループ

園舎・園庭があたらしくなり、発想の転換が良い方向に変わったと思った。  
先回りせず、子どもより先に手を出さず、過干渉せずに関わりたいと思う。  
子ども達が安心して過ごしている環境で話や会話が出来ているように感じた。

### ③ グループ

友だち、先生との関わりの中で、気持ちや身体能力、発想など様々な成長がたくさんあることに気づいた。同年齢だけでなく異年齢の関わりの中で、憧れや心のつながりが育ったのではと感じ、日々成長がみられる。子どもと同じレベルで物を見たり、話をするのは大切なこと、子どもと接しながら、自分も成長させてもらっている。

## 【振り返り】

グループワークを通して普段のなにげないつぶやきも、現在の子どもの興味・関心が分かり、理解を深められると感じた。

新しい園庭の変化に職員も楽しみな反面、ケガなどの心配になることなどあったが、環境変化のきっかけであそびや成長の新たな発見が広がったり、遊びの中で心も身体もプラスになっていたりすることに気づけました。また、「育ち合い」それは子どもだけでなく、大人も当てはまります。そして、保育者の気づきや考察を重ねていくことで保育者としての専門性が向上し、より保育の質が上がることや深めることもできると感じました。

# 保育園の自己評価

<令和 7 年度>

社会福祉法人鶴見乳幼児福祉センター 駒岡保育園

「保育所は保育に質の向上を図るため、保育の計画や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当各保育所の保育の内容について自ら自己評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない」と保育指針に明記されています。当法人ではこのことに基づき検討し、保育園（組織）としての自己評価について、評価の項目、視点方法、および評価結果の示し方等についての標準的な様式として作成しました。

保育士自ら、園を評価及びこれに基づく改善という一連の取り組みのより保育の質の向上を図ります。

<評価について>

評価するにあたっては以下基準で評価を行ってください。

- |           |      |
|-----------|------|
| A-たいへん良い  | (3点) |
| B-ほぼ出来ている | (2点) |
| C-改善を要する  | (1点) |

項目	内容	評価	点数	意見
保育課程	保育の全体的な計画（保育課程）の作成は職員が参加している。	A 1 5 B 6	57	職員全体が取り組み、保護者アンケートからニーズを捉え計画をしている
	地域の実態・保護者の願いを考慮して全体的な計画は作成されている。	A 1 0 B 1 0 c 1	51	
保育理念	子どもの人権・人格の尊重・子どもの意思・自立への援助を意識し、一人ひとり大切に保育を意識した保育			
	保育理念を年度初めに職員で確認している	A 1 6 B 4 C 1	57	重要事項説明書の見直しや会議等で確認し、職員の周知度は高い。保護者へも懇談会では資料と共に必ず伝えるようにしている。
	職員や保護者の見やすい所に掲示している	A 1 5 B 4 C 2	55	
	保護者に配布物等を利用して保育理念や方針を周知している	A 2 0 B 1	62	
保育目標	(せ・入) 一杯遊ぼう笑顔の毎日 ~smile and heart~ (駒) じぶんがすき みんながすき いっしょにそだちあおう			
	保育目標は社会の要望や保護者の願いを反映しているか	A 1 7 B 4	59	思いを反映はしていると感じるが、民間移管時から変わっていないため、現職員と確認や必要であれば見直しが必要
	保育目標は前年度の反省を生かし、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか	A 9 B 1 0 C 2	49	
保育内容	指導計画は各年齢の実態に即して作成されているか	A 1 5 B 6	57	講師による発達理論や援助の研修を職員全体で行い、指針や発達過程を捉えて計画を立てている。 廃材や自然物など取り入れ各年齢に応じた活動ができるように工夫したり、発達に応じた用具の検討も都度行っている。 今後さらにPDCAサイクルを意識し、日々の保育、自己評価のもと、常に改善に努めていく必要がある
	環境の構成を意識した保育計画になっているか	A 1 5 B 6	57	
	素材・用具を適切に活用しているか	A 1 5 B 6	57	
	保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか	A 1 1 B 1 0	53	
	評価結果を基に、保育の改善に努めているか	A 1 3 B 7 C 1	54	
	一日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよいか	A 1 2 B 7 C 2	51	

保育・行事	行事の種類や実施計画は適切か	A 1 3 B 8	55	保育や行事は前年度の反省を生かし、こどもの自発性を考え、計画をしている。行事後はアンケートや意見箱の意見など基に反省・改善に努めている。 ただ、保護者から日々の保育についての思いを聞き取れているか不安はある。
	計画・実施・評価・改善の体制がとれているか	A 1 4 B 6 C 1	55	
	保護者の願いや意見を取り入れているか	A 1 4 B 7	56	
安全・衛生	健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成の為、家庭への啓発を行っているか	A 1 4 B 6 C 1	55	各マニュアルがあり、感染が流行ったときはマニュアルに沿って対応している。各家庭には日々のコミュニケーション・園だよりやアプリでの配信などで健康に関する啓発を行っている。また、必要に応じ、病院・区役所・警察等各機関と連携している。 ただ、マニュアルの見直しや職員との確認は必要と感じる
	乳幼児期の安全確保のために、家庭、地域社会、関係機関と連携を図っているか			
	感染症等を予防するマニュアルがあり、職員周知され、実行しているか	A 1 4 B 6 C 1	55	
食事	食事を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫しているか	A 1 6 B 5	58	調理体験・栽培・郷土料理・ランチタイム制・量の選択制の取り組みを行い食への関心が深めるよう工夫している。アレルギーの関してはマニュアルを周知、徹底・実行し、自己の内容努めている。 アレルギー児の食事に関わることの少ない職員に対しても、毎年マニュアルの確認が必ずできるようにする
	アレルギー疾患などを持つ子に対し医師からの指示を得て適切な対応を行っているか	A 1 9 B 1 C 1	60	
	アレルギーの誤食を防ぐためのマニュアルがあり、職員周知され、実行しているか	A 1 8 B 3	60	
環	室内外の衛生面・安全面に配慮しているか	A 1 7 B 4	59	毎日、安全点検を実施し、安全に努めている。また時間を工夫し清掃・玩具消毒は職員でチェックリストを用いておこ

境	園内に季節感が味わえるような工夫がされているか	A 1 5 B 6	57	なっている。 旬の食材の掲示・季節の製作や行事食・季節の装飾など季節が感じられるように工夫している
人権尊重	子どもの人権に十分配慮するとともに文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮しているか	A 1 6 B 5	58	国籍・性別など互いに認め合えるよう年に1度は人権に関する確認を職員間で行う。日本語が困難な家庭にはこまめな声掛けや物理的な環境は用意している。しかし、細かいことが伝わらないのが現状。プライバシーに配慮するため、衝立や目隠しを使用している。
	日本語によるコミュニケーションが困難な保護者に対して、園の意向や連絡事項が正しく伝わるように配慮しているか	A 1 4 B 6 C 1	55	
	性差への先入観による固定的な概念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A 1 4 B 6 C 2	56	
子育て支援	送迎の際の対話や連絡事項への記載等の日常の情報交換に加えて、相談に応じて個別面談を行っている	A 1 9 B 2	61	必要に応じて個別面談を実施している。虐待の早期発見のため、着替え時の視診を行ったり、行動や発言で気になった場合は関係機関に報告している。
	日常、保護者や子どもの様子に注視し、虐待の予防や早期発見に努めている	A 1 9 B 2	61	
	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A 1 4 B 7	56	
地域との連携	地域の関係機関などと連携を深めるようにしている。	A 1 3 B 7 C 1	54	梶山診療所読み聞かせの会 地域年長交流・地区園著会議の参加・職業・福祉体験の受け入れ・夏ボラの受け入れ・法人内年長交流・実習生の受け入れ・お花のボランティア・玩具ボラ 小学校交流・買い物体験・地域年長交流など地域交流を盛んにしている
	ボランティア・保育体験の人々を積極的に受け入れている	A 1 7 B 4	59	
	幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流をしている	A 1 5 B 5 C 1	53	
危機管理	避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施している	A 1 9 B 2	61	交通安全教室の参加・月1回の避難訓練また、職員の研修として不審者訓練時は警察の指導、消防署に心肺蘇生法訓練今年度は消火訓練を講習してもらった。
	乳幼児の安全を図るため、家庭・地域社会・関係機関と連携を図っているか	A 1 7 B 4	59	

守 秘 義 務	子どもの個人記録は個人情報保護法に基づき管理しているか	A 1 8 B 3	60	個人情報が漏れないようコード ンに名前は入れないようにした り、情報は鍵付きの書庫に保管 する。
	保育業務で知りえた子どもの家庭に関する秘密の保持につ いて全職員に周知し、守られているか	A 1 8 B 3	60	職員全員が意識しているようさら に努めていきたい
園 内 外 の 研 修	各研修会への参加体制の充実を図っているか	A 1 8 B 3	60	わらべやリズムは実際に講師に 来てもらい、全員で同じ意識を もって保育にあたるようにし ている。研修報告はまだまだ時 間を工夫して行うことが必要と 感じる。
	研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育成に反映して いるか	A 1 4 B 7	59	
組 織 運 営	係や仕事の分担・役割は適切か	A 1 5 B 6	57	係・委員会で全員が割り振られ ているが見直しも必要と感じる 職員面談の実施や会議等での話 し合い 話し合いの時間が足りないと感 じる
	職員相互がそれぞれに全体的立場を理解し、協力や助言を惜 しみなく保育園の運営にかかわっているか	A 1 4 B 7	56	
	職員の意見を聞いたり話し合う機会を定期的に設けているか	A 1 6 B 5	58	

